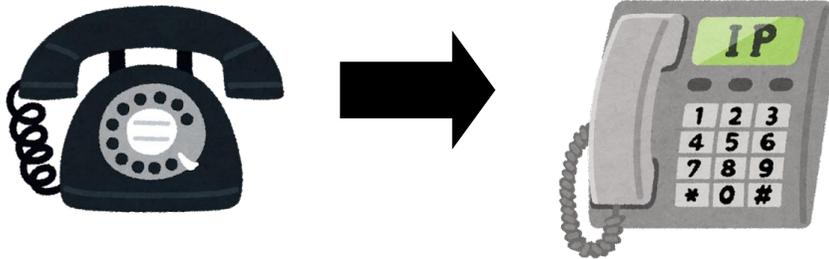




## ★★事例 8★★

### 光回線の電話勧誘

契約中の大手電話会社を名乗って電話があり、アナログ回線が廃止になるので光回線に変更する必要があると説明された。料金は安くなるし、工事費用はキャッシュバックするとのことであった。必要な契約変更だと思って了承した。工事が終わった後で大手電話会社に問い合わせたところ、確かにアナログ回線は廃止になるが、電話はそのまま使えるとのこと、光回線に切り替える必要はないことが分かった。不要な工事だったので元に戻して欲しい。



この件については、電話をかけてきた代理店が嘘の説明をしていたことが明らかだったので、大手電話会社に事情を伝えて、契約を元に戻すことが出来ました。

アナログ回線(固定電話)は2024年以降、IP電話に切り替わります。電話会社内の設備の切り替えなので、ご家庭の電話機はそのまま使えますし工事也不需要ありません。料金が安くなるなどのメリットもあります。

インターネットを利用しないのであれば、光回線に切り替える必要はありません。光回線にすると安くなるなどと説明をして勧誘する光回線事業者も見受けられますが、応じないようにしてください。

## ★ワンポイント★

光回線やプロバイダ変更の電話勧誘や訪問販売が盛んに行われています。多くは代理店が行っており、競争が激しくなる中、営業成績を上げるために、無理な勧誘も見られます。

突然の訪問や電話で安くなると言われてしまうと、相手のペースに乗せられがちです。その場で契約せず、よく話を聞いた上で、今の契約内容も確認して、検討するようにしましょう。

通信の契約には、初期契約解除という制度があります。契約内容を記載した書面を貰ってから8日間であれば、それまでの実費だけの支払いで解約できます。書類は必ず確認してください。